

# Denka 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成27年8月6日  
上場取引所 東

上場会社名 電気化学工業株式会社  
 コード番号 4061 URL http://www.denka.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉高 紳介  
 問合せ先責任者 (役職名)IR室長 (氏名)大町 徹夫 (TEL)03-5290-5532  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

## 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	86,929	0.1	5,940	105.5	5,826	120.8	4,366	115.6
27年3月期第1四半期	86,856	△0.7	2,890	△44.9	2,638	△54.0	2,025	△50.6

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 5,259百万円(107.0%) 27年3月期第1四半期 2,540百万円(△56.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	9.54	—
27年3月期第1四半期	4.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	451,773	212,732	46.6	459.91
27年3月期	445,569	210,798	46.9	455.94

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 210,581百万円 27年3月期 208,765百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	7.50	12.50
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	6.00	—	6.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	185,000	△1.0	12,500	32.8	11,000	16.9	8,000	6.3	17.47
通期	390,000	1.6	30,000	24.8	27,000	11.2	19,000	△0.1	41.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、(添付資料) 4 ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年3月期 1 Q	465,954,121株	27年3月期	465,954,121株
28年3月期 1 Q	8,081,356株	27年3月期	8,073,092株
28年3月期 1 Q	457,876,271株	27年3月期 1 Q	460,584,796株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
4. 補足情報 .....	11
平成28年3月期 第1四半期決算概要 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、個人消費や住宅投資など一部で改善の動きが見られたものの、輸出や生産では増勢が一服するなど、本格的な景気回復には至りませんでした。世界経済は、中国やアジアで減速感が強まっているものの、全体としては緩やかな回復が続きました。

このような経済環境のもと、当社グループは国内外での拡販や販売価格の是正およびコストの削減に努め、業容の拡大と収益の確保に注力いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は869億29百万円と前年同期に比べ73百万円(0.1%)の増収となりました。収益面では、円安による輸出製品の手取り増加や原材料価格の下落による樹脂、加工製品の採算改善により、営業利益は59億40百万円(前年同期比30億49万円増、105.5%増益)、経常利益は58億26百万円(前年同期比31億88百万円増、120.8%増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は43億66百万円(前年同期比23億41百万円増、115.6%増益)となりました。

#### <エラストマー・機能樹脂部門>

当部門の売上高は392億57百万円と前年同期に比べ2億81百万円(0.7%)の増収となりました。

クロロプレンゴムは円安による手取り増加により増収となりました。スチレンモノマーやデンカシンガポール社のポリスチレン樹脂等は販売数量は増加しましたが原材料価格の下落に伴い販売価格が下落しました。

#### <インフラ・無機材料部門>

当部門の売上高は106億44百万円と前年同期に比べ3百万円(0.0%)の増収となりました。

特殊混和材は販売数量が増加し増収となりましたが、セメントの国内販売や肥料は販売数量が減少し減収となりました。

#### <電子・先端プロダクツ部門>

当部門の売上高は112億84百万円と前年同期に比べ22百万円(0.2%)の増収となりました。

LED用サイアロン蛍光体“アロンブライト”は販売数量が増加し増収となり、電子回路基板の販売も前年を上回りましたが、電子部品・半導体搬送資材用の機能フィルムは販売数量が減少し減収となりました。

#### <生活・環境プロダクツ部門>

当部門の売上高は156億98百万円と前年同期に比べ3億36百万円(2.1%)の減収となりました。

合繊かつら用原糸“トヨカロン”は販売数量が増加し増収となり、食品包材用シートやデンカポリマー株式会社の加工品の販売も順調に推移しましたが、プラスチック雨どいや工業用テープは販売数量が減少し減収となりました。医薬品ではデンカ生研株式会社の試薬の販売は前年同期並みとなりました。

#### <その他部門>

当部門の売上高は100億44百万円と前年同期に比べ1億3百万円(1.0%)の増収となりました。

株式会社アクロス商事等の商社は取扱量が前年同期並みとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ62億3百万円増加の4,517億73百万円となりました。流動資産は、たな卸資産の増加などにより前連結会計年度末に比べ38億27百万円増加の1,743億25百万円となりました。固定資産は、投資有価証券の増加などにより前連結会計年度末に比べ23億76百万円増加の2,774億47百万円となりました。

負債は、有利子負債の増加などにより前連結会計年度末に比べ42億69百万円増加の2,390億40百万円となりました。

非支配株主持分を含めた純資産は前連結会計年度末に比べ19億34百万円増加して2,127億32百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の46.9%から46.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月12日に公表いたしました連結業績予想からの変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、POSCO Sdn. Bhd. (平成27年6月9日付でDenka Infrastructure Malaysia Sdn. Bhd.へ社名を変更)の株式を追加取得したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より、同社及び同社の連結子会社5社を連結の範囲に含めております。

また、前連結会計年度まで非連結子会社であったDenka Advanced Materials Vietnam Co., Ltd.は、重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、上記の変更により、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,219	17,517
受取手形及び売掛金	83,172	77,103
商品及び製品	44,103	45,870
仕掛品	2,725	4,332
原材料及び貯蔵品	17,687	17,954
繰延税金資産	1,994	2,432
その他	11,851	9,340
貸倒引当金	△256	△224
流動資産合計	170,497	174,325
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	55,082	57,758
機械装置及び運搬具（純額）	74,636	75,010
工具、器具及び備品（純額）	2,481	2,606
土地	63,303	63,304
リース資産（純額）	344	338
建設仮勘定	16,014	13,618
有形固定資産合計	211,864	212,636
無形固定資産		
特許権	744	712
ソフトウェア	574	553
のれん	—	368
その他	190	187
無形固定資産合計	1,509	1,821
投資その他の資産		
投資有価証券	55,356	56,248
長期貸付金	1,430	1,430
繰延税金資産	915	882
その他	4,037	4,468
貸倒引当金	△42	△40
投資その他の資産合計	61,698	62,989
固定資産合計	275,071	277,447
資産合計	445,569	451,773

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,401	46,772
短期借入金	47,456	50,096
コマーシャル・ペーパー	9,000	13,000
1年内返済予定の長期借入金	12,570	19,576
未払法人税等	5,525	1,833
未払消費税等	1,799	703
繰延税金負債	3	1
賞与引当金	2,544	4,630
その他	33,800	31,974
流動負債合計	160,101	168,588
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	23,509	18,650
繰延税金負債	6,114	6,486
再評価に係る繰延税金負債	8,879	8,879
退職給付に係る負債	5,262	5,531
その他	903	904
固定負債合計	74,669	70,451
負債合計	234,771	239,040
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,998	36,998
資本剰余金	49,284	49,284
利益剰余金	99,080	99,939
自己株式	△2,641	△2,645
株主資本合計	182,722	183,577
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,231	14,193
土地再評価差額金	9,795	9,795
為替換算調整勘定	3,174	3,110
退職給付に係る調整累計額	△158	△94
その他の包括利益累計額合計	26,043	27,004
非支配株主持分	2,032	2,151
純資産合計	210,798	212,732
負債純資産合計	445,569	451,773

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	86,856	86,929
売上原価	69,490	66,196
売上総利益	17,366	20,732
販売費及び一般管理費	14,475	14,792
営業利益	2,890	5,940
営業外収益		
受取利息	16	16
受取配当金	567	500
持分法による投資利益	76	—
為替差益	—	219
その他	59	203
営業外収益合計	720	939
営業外費用		
支払利息	230	217
持分法による投資損失	—	10
操業休止等経費	93	287
為替差損	243	—
その他	405	537
営業外費用合計	973	1,053
経常利益	2,638	5,826
税金等調整前四半期純利益	2,638	5,826
法人税、住民税及び事業税	568	1,413
四半期純利益	2,069	4,412
非支配株主に帰属する四半期純利益	44	45
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,025	4,366

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	2,069	4,412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	859	978
為替換算調整勘定	△462	△186
退職給付に係る調整額	45	63
持分法適用会社に対する持分相当額	29	△8
その他の包括利益合計	471	847
四半期包括利益	2,540	5,259
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,476	5,208
非支配株主に係る四半期包括利益	63	51

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エラスト マー・機 能樹脂	インフ ラ・無機 材料	電子・先 端プロダ クツ	生活・環 境プロダ クツ	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	38,976	10,640	11,261	16,035	76,915	9,941	86,856	—	86,856
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	41	9	—	2	52	1,337	1,389	(1,389)	—
計	39,017	10,649	11,261	16,038	76,967	11,278	88,246	(1,389)	86,856
セグメント利益	611	567	978	533	2,691	211	2,902	(11)	2,890

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△11百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	54,181	23,719	8,955	32,675	86,856
連結売上高に占める割合 (%)	62.4	27.3	10.3	37.6	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	エラスト マー・機 能樹脂	インフ ラ・無機 材料	電子・先 端プロダ クツ	生活・環 境プロダ クツ	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	39,257	10,644	11,284	15,698	76,884	10,044	86,929	—	86,929
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	36	7	—	△0	42	1,126	1,169	(1,169)	—
計	39,294	10,651	11,284	15,698	76,927	11,171	88,099	(1,169)	86,929
セグメント利益	3,371	10	1,403	868	5,653	276	5,930	9	5,940

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額9百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	52,892	25,334	8,701	34,036	86,929
連結売上高に占める割合 (%)	60.8	29.1	10.0	39.2	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## 4. 補足情報

## 平成28年3月期 第1四半期決算概要

平成27年8月6日  
電気化学工業株式会社

## 1. 業績の概要

## 【総括（進捗度・当初予想比）】

- ・当第1四半期実績は、円安による輸出製品の手取り増加や、原材料価格の下落による樹脂、加工製品の採算改善等から、営業利益は59億円と前年同期に比べて30億円の増益となり、当初予想比でも、上期の営業利益予想125億円に対して48%の進捗率となりました。
- ・第2四半期以降、期初業績予想のとおり、上期営業利益は125億円、そしてインフルエンザワクチンや診断キットが収益に寄与する下期は175億円と、通期では営業利益300億円を達成することで、営業利益の過去最高更新を目指します。

## 【セグメント別状況（第1四半期前年同期比・第2四半期見通し）】

- ・エラストマー・機能樹脂部門は、円安によるクロロプレンゴムの手取り増や原材料価格下落によるスチレン系樹脂の採算改善に加え、スチレンモノマーの定修負担の減少や電力コストの減少もあり、増益となりました。第2四半期も増益基調が持続する見込みです。
- ・インフラ・無機材料部門は、特殊混和材が数量を伸ばしましたが、セメントの国内販売や肥料は出荷減となり、減益となりました。第2四半期は特殊混和材を中心とした出荷増により第1四半期比増益を見込んでおります。
- ・電子・先端プロダクツ部門は、蛍光体や電子回路基板の出荷増により増益となりました。第2四半期も蛍光体の好調持続等から引き続き増益基調となる見込みです。
- ・生活・環境プロダクツ部門は、雨どいや工業用テープの販売数量が減少したものの、合繊出荷増、食品包材や加工品の採算改善等で減収増益となりました。第2四半期も第1四半期同様の要因から減収増益となる見込みです。

## 【業績】

	平成28年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	平成27年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	増減
売上高	869	869	1
営業利益	59	29	30
経常利益	58	26	32
親会社株主に帰属する四半期純利益	44	20	23

(単位:億円)

平成28年3月期 第2四半期予想 (4-9月)	平成28年3月期 年度予想 (4-3月)
1,850	3,900
125	300
110	270
80	190

## 2. セグメント別 連結売上高・営業利益

		平成28年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	平成27年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	増減
エラストマー・ 機能樹脂	売上高	393	390	3
	営業利益	34	6	28
インフラ・ 無機材料	売上高	106	106	0
	営業利益	0	6	△6
電子・先端 プロダクツ	売上高	113	113	0
	営業利益	14	10	4
生活・環境 プロダクツ	売上高	157	160	△3
	営業利益	9	5	3
その他	売上高	100	99	1
	営業利益	3	2	1
消去差	売上高	-	-	-
	営業利益	0	△0	0
合計	売上高	869	869	1
	営業利益	59	29	30

(単位:億円)

平成28年3月期 第2四半期予想 (4-9月)	平成28年3月期 年度予想 (4-3月)
800	1,600
45	80
250	550
10	30
250	500
35	70
350	800
30	110
200	450
5	10
-	-
-	-
1,850	3,900
125	300

3. 参考数値・前提

(単位:億円)

	平成28年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	平成27年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	増 減	平成28年3月期	平成28年3月期
				第2四半期予想 (4-9月)	年度予想 (4-3月)
設備投資額	40	32	8	120	240
減価償却費	56	57	△ 1	110	230
研究開発費	30	29	1	60	117
有利子負債残高	1,313	1,308	5	1,400	1,300

	平成28年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	平成27年3月期 第1四半期実績 (4-6月)
為替レート [円/\$]	121.4	102.2
国産ナフサ [円/kl]	49,000	70,100

4. セグメント別 連結売上高増減内訳

(単位:億円)

	売 上 高				
	平成28年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	平成27年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	増 減		
				販売価格差	数量差
エラストマー・機能樹脂	393	390	3	△ 41	44
インフラ・無機材料	106	106	0	1	△ 1
電子・先端プロダクツ	113	113	0	3	△ 3
生活・環境プロダクツ	157	160	△ 3	△ 1	△ 2
そ の 他	100	99	1	-	1
合 計	869	869	1	△ 39	40

5. セグメント別 連結営業利益増減内訳

(単位:億円)

	営 業 利 益					
	平成28年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	平成27年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	増 減			
				販売価格差	数量差	コスト差等
エラストマー・機能樹脂	34	6	28	△ 41	3	66
インフラ・無機材料	0	6	△ 6	1	△ 2	△ 4
電子・先端プロダクツ	14	10	4	3	0	1
生活・環境プロダクツ	9	5	3	△ 1	△ 4	9
そ の 他	3	2	1	-	-0	1
消 去 差	0	△ 0	0	-	-	0
合 計	59	29	30	△ 39	△ 3	73